

災害時の動きを地域で共有する 地域タイムラインの検討

取組分類

参加体験

行動特性

デジタル

☑呼びかけ ☑周りの避難

自治体

長野県伊那市

問合せ先：長野県伊那市 危機管理課

取組概要

- **地域でタイムライン（防災行動計画）を作成し、「逃げ遅れゼロ」の達成を目指している。**
- **住民は、地域の動きを知ることによって避難行動を起こしやすい。また、地域においては、避難行動や支援等、災害時に取り組む作業の内容やルールが共有できる。**

取組のきっかけ

- 「自助」が基本であるが、高齢者のみの世帯の増加や、地区外への通勤等により支援者の減少といった地域力弱体化に対応するため、「共助」を核とした地域づくりを構築する。
- 「要配慮者支援」を地域防災の重点として意識化し、地域一体で備えや支援体制を作る。

取組のポイント

- 多くの地区で抱える「何をして良いか分からない」という課題に対して、タイムライン（防災行動計画）を作ることで、地域に動きを与えるきっかけとしている。また、地域が動いていることで安心感を与える。
- 地域タイムライン作成のポイントは大きく以下の5つとしている。
 - ★作成のポイント1：気象や河川などの各種情報の発信タイミング・内容の確認
 - ★作成のポイント2：避難情報の警戒レベル等に応じた行動を確認
 - ★作成のポイント3：「いつ」行動開始するか
 - ・地域の状況（災害リスクや居住者の状況など）により、防災活動のタイミングを決める。
 - ・過去に被害を受けた箇所や、大雨の際に被害を受けやすい箇所の情報等も、あらかじめ共有しておくことで、安全な移動や二次災害防止につなげる。
 - ★作成のポイント4：「誰が」するのかの検討
 - ・特に、支援者や要配慮者で打合せを行い、お互いの動きを把握する。
 - ★作成のポイント5：「何を」するのかの検討
 - ・災害対応や避難行動支援の際の協力関係や役割分担を確認する。

▼地域タイムライン作成に向けたワークショップ



▼警戒レベルも考慮した地域タイムライン

警戒レベル	個人への行動	私の行動	地区の行動
3 注意	レベル1 気象・河川情報、避難情報、避難場所を確認する。	【私の行動】 避難場所を確認する。	【地区の行動】 避難場所を確認する。
2 警戒	レベル2 避難場所を確認し、避難準備を始める。	【私の行動】 避難準備を始める。	【地区の行動】 避難準備を始める。
1 厳戒	レベル3 避難場所を確認し、避難行動を開始する。	【私の行動】 避難行動を開始する。	【地区の行動】 避難行動を開始する。
4 厳戒	レベル4 避難場所を確認し、避難行動を開始する。	【私の行動】 避難行動を開始する。	【地区の行動】 避難行動を開始する。
5 厳戒	レベル5 避難場所を確認し、避難行動を開始する。	【私の行動】 避難行動を開始する。	【地区の行動】 避難行動を開始する。

取組の効果

- 令和3年8月豪雨の際、地域タイムラインを作成した地区において、声かけや安否確認などが早い段階で実施でき、迅速な安全確保の行動ができたなどの報告が地域からされている。

<作成実績>

- ・令和2年度 1地区
- ・令和3年度 12地区
- ・令和4年度 26地区（作成中含む）